



## 平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年2月12日

上場会社名 中部水産株式会社

上場取引所 名

コード番号 8145 URL <http://www.nagoya-chusui.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉川 輝喜

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 鈴木 祥司

TEL 052-683-3110

四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第3四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	31,517	2.4	165	35.1	253	19.7	162	—
25年3月期第3四半期	30,773	△5.5	122	5.3	212	△0.9	△45	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	8.98	—
25年3月期第3四半期	△2.47	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	15,773	12,174	77.2
25年3月期	14,716	12,197	82.9

(参考)自己資本 26年3月期第3四半期 12,174百万円 25年3月期 12,197百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	4.00	—	4.00	8.00
26年3月期	—	4.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	4.00	8.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,000	0.9	120	11.2	260	8.8	140	788.8	7.60

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期3Q	19,969,000 株	25年3月期	19,969,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年3月期3Q	2,024,639 株	25年3月期	1,544,879 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	18,147,709 株	25年3月期3Q	18,597,028 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第3四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の金融緩和策や経済政策によって株高や円安が進み、景気の緩やかな回復の動きが見られますが、原材料、燃油価格の上昇や海外景気の下振れ懸念もあって、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当業界におきましては、海洋環境の変化による不安定な漁獲状況が続き、輸入冷凍魚が為替の影響からコスト高となり、消費者の低価格・節約志向は依然として根強く、市場内外での販売競争の激化も相俟って、引き続き厳しい事業環境となりました。

このような状況のもとで、当社は、変化する市場や激化する販売競争に対応した集荷、営業活動を積極的に推し進めるとともに、業績の向上と経営体質の強化のための諸施策に取り組んでまいりました。

この結果、売上高は、飼料工場が需要減退により大幅な減収となりましたが、卸売部門が取扱数量は減少したものの価格高により増収となり、31,517百万円(前年同四半期比2.4%増)となりました。経常利益は、売上総利益率が若干悪化しましたが、諸経費の削減により、253百万円(同19.7%増)となり、四半期純利益は、投資有価証券評価損がなくなったことにより、162百万円(前年同四半期は四半期純損失45百万円)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(卸売部門)

鮮魚は、輸入生鮮キハダ、サンマ、アサリの不漁、浜値高の養殖カンパチ、ホタテ貝柱の入荷減、ウナギの取扱数量の減少などによる売上減がありましたが、天然ブリの豊漁、カツオ、ヤリイカなどの順調な入荷、養殖本マグロ等の需要増、ウニ、車エビの単価高などにより、増収となりました。

冷凍魚は、南北凍魚全般の供給減と価格上昇による荷動きの悪化がありましたが、アルゼンチン赤エビが量販店中心に販売数量を伸ばし、トラウトなど刺身用製品の好調な荷動き、チリ産銀サケ、バナメイエビ、ズワイガニの価格高などにより増収となりました。

塩干魚は、イクラ、ウナギ蒲焼が高値で荷動きが悪く、チリメンが不漁と単価安で大幅な売上減となりましたが、鮭鱒が取扱数量は減ったものの単価高で売上増となり、漬魚、ミートボールなどが量販店向けに順調に売上を伸ばし、増収となりました。

売上高は30,208百万円(前年同四半期比2.7%増)、営業利益は331百万円(同19.2%増)となりました。

(飼料工場部門)

魚粉販売は、水産向け魚粉が海面養殖魚の減少で需要減となり、養鰻用飼料は、輸出版売が売上を伸ばしたものの、国内販売がウナギ稚魚の不漁により需要が減少し、大幅な減収となり、売上高は527百万円(前年同四半期比9.3%減)、営業利益は30百万円(同25.3%減)となりました。

(食品加工場部門)

さきいか製品のあたりめが主販売先の取扱減で売上減となりましたが、串剣先、するめソーメン、佃煮原料などが順調な販売となり、新規取扱のこがね漬などの惣菜商品も寄与し、増収となりました。売上高は335百万円(前年同四半期比3.4%増)、営業損失は11百万円(前年同四半期は営業損失19百万円)となりました。

(冷蔵工場部門)

外国貨物は前年並みの取り扱いでしたが、他社冷蔵庫の再保管貨物の増加やきめ細かい営業活動による市場外貨物の増加により、増収となりました。売上高は364百万円(前年同四半期比2.7%増)、営業利益は43百万円(同4.7%減)となりました。

(不動産賃貸部門)

売上高は81百万円(前年同四半期比4.4%減)、営業利益は43百万円(同3.4%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産は15,773百万円となり、前事業年度末に比べ1,057百万円(7.2%)増加しました。これは主に、現金及び預金の減少1,082百万円などがありましたが、受取手形及び売掛金の増加1,376百万円、商品及び製品の増加565百万円、投資有価証券の増加203百万円などによるものであります。

負債は3,598百万円となり、前事業年度末に比べ1,079百万円(42.9%)増加しました。これは主に、賞与引当金の減少36百万円などがありましたが、支払手形及び買掛金の増加1,046百万円、未払法人税等の増加68百万円などによるものであります。

純資産は12,174百万円となり、前事業年度末に比べ22百万円(0.2%)減少しました。これは、その他有価証券評価差額金の増加93百万円、利益剰余金の増加17百万円がありましたが、自己株式の取得による減少133百万円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期累計期間は、業績予想の想定内で推移しており、平成25年5月13日発表の業績予想は変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表  
(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,834,777	2,752,172
受取手形及び売掛金	1,987,685	3,364,461
有価証券	3,349,800	3,149,850
商品及び製品	791,415	1,356,612
仕掛品	34,438	43,500
原材料及び貯蔵品	285,387	205,159
その他	65,391	43,516
貸倒引当金	△18,000	△29,630
流動資産合計	10,330,895	10,885,643
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,171,321	1,129,297
その他(純額)	759,458	751,224
有形固定資産合計	1,930,780	1,880,522
無形固定資産		
	53,792	27,923
投資その他の資産		
投資有価証券	1,716,865	1,920,595
その他	720,546	1,102,539
貸倒引当金	△36,412	△43,690
投資その他の資産合計	2,400,999	2,979,445
固定資産合計	4,385,571	4,887,891
資産合計	14,716,467	15,773,535
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,357,812	2,404,699
受託販売未払金	177,894	212,910
未払法人税等	4,428	73,407
賞与引当金	52,730	16,220
役員賞与引当金	7,700	—
その他	217,712	237,620
流動負債合計	1,818,277	2,944,858
固定負債		
退職給付引当金	562,029	529,715
その他	138,728	124,336
固定負債合計	700,757	654,051
負債合計	2,519,034	3,598,909

(単位:千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,450,000	1,450,000
資本剰余金	1,045,772	1,045,772
利益剰余金	10,432,952	10,450,464
自己株式	△716,963	△850,818
株主資本合計	12,211,760	12,095,417
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△14,328	79,207
評価・換算差額等合計	△14,328	79,207
純資産合計	12,197,432	12,174,625
負債純資産合計	14,716,467	15,773,535

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	30,773,801	31,517,184
売上原価	29,245,740	30,009,813
売上総利益	1,528,061	1,507,370
販売費及び一般管理費	1,405,425	1,341,682
営業利益	122,635	165,688
営業外収益		
受取利息	10,543	9,565
受取配当金	39,624	29,792
受取補償金	—	11,712
受取手数料	28,177	27,427
その他	12,707	10,743
営業外収益合計	91,051	89,240
営業外費用		
雑損失	1,667	1,130
営業外費用合計	1,667	1,130
経常利益	212,020	253,798
特別利益		
固定資産売却益	34,930	—
投資有価証券売却益	—	5,565
特別利益合計	34,930	5,565
特別損失		
投資有価証券売却損	15,257	—
投資有価証券評価損	306,905	—
特別損失合計	322,163	—
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△75,212	259,363
法人税、住民税及び事業税	3,067	76,802
法人税等調整額	△32,290	19,571
法人税等合計	△29,222	96,373
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△45,989	162,989



(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	卸売部門	飼料工場 部門	食品加工場 部門	冷蔵工場 部門	不動産賃貸 部門			
売上高								
外部顧客への 売上高	29,427,607	581,201	324,371	355,361	85,259	30,773,801	—	30,773,801
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	27,252	—	6,022	83,829	—	117,104	△117,104	—
計	29,454,859	581,201	330,393	439,191	85,259	30,890,905	△117,104	30,773,801
セグメント利益 又は損失(△)	278,291	40,526	△19,239	46,129	44,755	390,463	△267,827	122,635

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△267,827千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

II 当第3四半期累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	卸売部門	飼料工場 部門	食品加工場 部門	冷蔵工場 部門	不動産賃貸 部門			
売上高								
外部顧客への 売上高	30,208,063	527,206	335,521	364,883	81,508	31,517,184	—	31,517,184
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	29,387	—	6,886	85,289	—	121,564	△121,564	—
計	30,237,451	527,206	342,407	450,173	81,508	31,638,748	△121,564	31,517,184
セグメント利益 又は損失(△)	331,780	30,284	△11,459	43,948	43,237	437,791	△272,102	165,688

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△272,102千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。